



キラリ輝く
輝き人
 vol.24
 田舎に生きる人々

小来川の未来をテラセ！^{おころがわ} 地元のために立ち上がった仲間たち

柴田会長(中央)を囲むメンバー

**小来川のみらいを
テラス会**

名前の由来は？
 若者たちがこれから地域を考え活動してい

そこで、小来川地区に住む20〜40代のメンバー数名がまちおこしをしようと思いついたことが始まりです。現在はメンバーも増え、32名が所属しています。その他にも小来川が大好きという出身者以外のメンバーも10名います。

今後計画しているものはありますか？
 古き良き昔ながらの里山を活用

ほとんどメンバーが小来川出身ですが、年代も考え方も違います。議論をして事業を構築していくことで、たくさん意見や考え方が出てきます。それをまとめていくことは大変ですが、みんなで作りに上げていく実感があり、うれしい苦労でもありますね。皆、小来川を思う気持は一緒です。

インタビューを終えて
 「来年は桜並木もライトアップする予定です」と楽しそうに話す柴田会長。柴田会長だけではなく、他のメンバーからも、地元小来川に対する愛情と「自分たちのまちは、自分たちで守らなくてはいけない」という使命感を感じました。
 小来川の未来は明るくテラセされています！

発足の理由を教えてください
 以前から、まちづくりに若者の意見や考えを反映させたい、そして若い世代に積極的にまちづくりに参加・協力してもらいたいと考えていました。

苦労はありますか？
 今年の1月に発足したばかりですが、早速、2月に地元黒川神社のライトアップ事業を行いました。当日は小来川地区外から300名を超える方が遊びに来てくれました。

かつては林業で栄え、最盛期には人口2,000人を超えていた小来川地区。しかし、少子高齢化が進み、現在人口は700人ほど。そこでまちに活気を取り戻そうと立ち上がった「小来川のみらいをテラス会」。今回は会長の柴田雄一郎さんにお話を伺いました。

どんな活動をしていますか？
 小来川地区が維持継続をすること、そして発展することの一助となる事業を行っていくことが目標です。



2月に行われた黒川神社のライトアップ

●8月14日(火)午後6時からふれあいの郷小来川で小来川納涼盆踊りが開催されます。素敵な景品が当たる抽選会も実施します。ぜひ、ご来場ください。